

私たちの町議会 りくべっ

No. 86

発行月日・平成28年11月4日
編集・議会運営委員会
発行・北海道陸別町議会

9月定例会

陸別町議会9月定例会は、9月6日から14日まで、その内の3日間開かれました。今定例会では、専決処分の承認を求めることについて1件、委員の選任について1件、条例案1件、補正予算案7件、意見書案3件、発議案1件、その他3件を可決し、平成27年度決算、全7会計を全て認定し、閉会しました。

平成28年度 各会計補正予算

会計名	補正額	総額	
一般会計	3億4,496万円	47億3,025万円	
特別会計	国保事業勘定	1,048万円	4億9,654万円
	国保直診施設勘定	136万円	4億4,762万円
	簡易水道事業	537万円	2億0,006万円
	公共下水道事業	1万円	1億5,156万円
	介護保険事業勘定	1,152万円	3億0,665万円

件、委員の選任について1件、条例案1件、補正予算案7件、意見書案3件、発議案1件、その他3件を可決し、平成27年度決算、全7会計を全て認定し、閉会しました。

▶保健センター・診療所を起点に運行されます。運行ダイヤは、町総務課にご確認願います。



○コミュニティバス運行委託料 231万円
Q どのような車両を使用するのか。
A 日産自動車から無償貸与された電気自動車（7人乗り）を使用する。

Q 利用者が多くて乗れない場合はどうするのか。
A 定時運行するので特別の対応はできない。（乗車を諦めていただく）
Q 今年度中は実証実験としての運行なので、様々なことを検証していきたい。
A 10月から診療所の外来患者の薬が完全に院外調剤になる事も併せて、町民説明会を開くべきではないか。
A 日程に余裕がないこともあり説明会は開催しない。町内回覧や職員からの説明に最大限努力する。

11月から町内で無料運行を開始
 8月の大雨災害復旧費約1億1千万円など
 平成28年度補正予算から



町道陸別黨別線の被災状況

○大雨災害関係予算を専決処分
 1億1千363万円
 8月の大雨・台風被害の復旧費、対策本部費など。
 被災箇所は、町道44路線、農業用施設（農道）5路線、林業用施設（林道）7路線など。そのうち通行止は16路線。

○畜産・酪農収益力強化整備事業補助金
 2億1千484万円
 国の補助金が町を通じて陸別町酪農・畜産クラスター協議会に交付され、牛の哺育センター、育成センターなどの施設整備に充てられる。

平成27年度 決算認定

○土曜授業推進事業（陸別中学校） 11万円

Q どのように評価しているか。

A この1年を振り返ると、保護者、学校関係者のご理解とご協力を得てスタートさせることができ、大変感謝している。

「陸別の子は陸別で育てる」の理念に基づき、地域の方々に講師に招いた「ふるさと教育」や「キャリア教育」の授業も実施したが、生徒のアンケートからも良い感想を得ることができ、想像していた以上の効果があったと感じている。
今後もし定着に向け、意見を聞きながら進めていくべきと考えている。



○街路灯LED化 598万円

Q LED化の進捗状況は。また、電気料金の削減効果はどの程度か。

A 平成27年度末において、約42%の進捗率となっている。
電気料金は50%強の削減効果があった。

○委員報酬全般

Q 町には多数の委員会、審議会などがあるが、予算が未執行のものや、当初から予算化されていないものがある。諮問機能的な諮議はもっと積極的に開催し、広く町民から意見を聞くべきでは。

A 委員会は必要に応じて開催するため、結果として未執行になることがある。諮問に至らない事項については、各種会合の折に、関係者から意見をいただいている。

○町職員の時間外勤務

Q 国の過重労働の判断基準である年間360時間を超えている職員がいる。使用者はもちろんのこと、労働者側にも改善の努力が求められるのでは。

A 昨年も同様の指摘があったが、漫然と見過ごしていたわけではない。職員組合にも協力を求め、改善に努めている。

○簡易水道事業特別会計

Q 災害により管内の一部の町で長期間の断水が発生している。陸別町の水道施設の現状は。

A 浄水場からの警報により24時間体制で出動する。
上陸別地区の営農用水施設の更新については、平成29年度の道営事業の採択を目指し事務を進めている。浄水場や管路等の設備は計画的に更新していく。

平成27年度 各会計の決算の状況

(単位: 万円 千円以下端数処理)

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引余剰金	繰越明許費繰越額	一般会計からの支援額	実質に近い収支	
一般会計	55億1,561	53億6,298	1億5,263	4,057		1億1,206	
特別会計	国保事業勘定	5億2,073	4億9,322	2,751	0	643	2,108
	国保直診施設勘定	4億2,559	4億0,466	2,093	0	9,119	△7,026
	簡易水道事業	2億2,359	2億1,977	382	0	2,110	△1,728
	公共下水道事業	1億6,839	1億6,671	168	0	4,615	△4,447
	介護保険事業勘定	3億0,135	2億8,983	1,152	0	0	1,152
	後期高齢者医療	4,008	4,008	0	0	0	0

一般質問

本田 学 議員

外来患者の院外薬局 移行への対応は

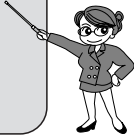
Q 診療所の外来患者に
対する薬の調剤を10月
から完全に院外へ移行する
との表明があったが、町民
の不安や疑問に答えるため、
町長の考えを確認させてい
ただく。

(野尻町長)

A 陸別では、診療所内
で薬を受け取ることが
長く続いており、当たり前
になっているが、他の町村
では、経営効率などを考え、
院外薬局への移行が増えて
きている。

医薬分業とは？

まめ辞典



医薬分業とは、診察や
医薬品の処方箋は医師が行
い、医師の処方箋に基づ
く調剤、薬歴の管理、服
薬指導などは薬剤師が行
う。

国は、「医薬分業」を推
奨しており、病院のかけも
ちなどの理由による、薬の
過剰投与を防ぐことや薬歴
の管理が可能となり、また、
ジェネリック医薬品の利用
がされれば本人や保険者負
担の軽減にもつながる。

11月からは、市街地を循
環するコミュニティバス
を運行するが、10月の1ヶ
月間は、診療所とぷらっと
間の往復運行を行う。

最初の1回は、お薬手帳
の発行などで時間を要する
が、2回目以降は、薬の受
け取りも早くでき、必要な
方は相談により宅配も可能
である。

町民の皆様にご理解をい
ただけるよう町内回覧や診
療所職員からの説明を指示
している。

ごみの減量化、不法投棄 対策の考えを伺う

Q リングプルやペット
ボトルのキャップ収集
などを行うことにより、ご
みの減量化、環境意識の向

上や不法投棄対策につなげ
ることができないか。

(町長)

A リングプルなどの収
集を行っている団体も
あるが、相当の量を集めな
くては車いすなどの交換
ができなく、上部組織に送
付しており、キャップにつ
いては、現在、受入が止まっ
ていると聞いている。不法
投棄には各町村でも苦慮し
ており、対策について情報
収集したい。

久保広幸 議員

総合計画の 見直し案を受けて

Q 第5期陸別町総合計
画は、中間年度の見直
し案として議会へ提案され
たが、次期の総合計画につ
ながるような新たな取り組
みが少なく感じる。担当課
等による検証と、諮問した
「まちづくり推進会議」で
の委員の意見は。

(町長)

A まずは、選挙で約束
したことを順次実行し
ていくことが大事で、それ
に取り組んでいるところで
ある。まちづくり推進会議
では、分野別の成果などを
説明するなどして諮問した
ところ、適当と認めるとの
答申があった。

総合計画に掲げられている 事業の評価は

Q 新たな雇用につなげ
るため、平成26年度か
ら地元雇用促進事業が始め
られたが、定住化に結びつ
いているのか。

(町長)

A 事業の対象となった
方は、これまで49名で、
その内、町外からは27名が
採用されたが、6名が自己
都合により退職、転出した
ため、現在、移住者の従業
員は21名となる。

Q 空き屋解体に係る景
観形成事業の実績と売
買や賃貸の仲介をするなど
跡地の活用方法の考えは。

9月定例会では4人の議員が一般
質問を行い、町政を問いました。
その内容を要約して掲載します。

一般質問

(町長)

A 平成10年から今年度の申請受付までの総数は164件で、改築が18件、解体のみが146件となっている。

解体後の空き地の利用が課題となっている。民間所有であり行政が介入するのは難しいが、調査・研究してみたい。

Q 新規業種起業支援事業の補助を受けた事業者の現状を伺う。

(町長)

A 平成16年度以降に補助の採択をした9件については、全て事業が継続されており、中でも不在業種として参入した寿司屋、薬局、整骨院及びパソコン等修理販売業については、順調に営業している。

行政評価を 取り入れる考えは

(町長)

Q 行政評価について、国の調査に対し、本町は検討中としているが、第三者が行政評価を行うこと

は、社会・経済情勢の変化に応じて事務事業の見直しをしていくことや、町民に対し、その理由を説明するうえでも有効であると考えられている。導入に向けた具体的な検討はしているのか。

(町長)

A 本町のように人口密度が低く、面積が広い自治体は、行政コストが高くなるため、行政評価はなじまないと考えているが、体制のとり方、手法、基準など他町村の状況をみながら引き続き検討したい。

渡辺 三義 議員

ふれあいの森の 活用と整備は

(町長)

Q ふれあいの森に位置づけられた経緯と、今後の活用方針、整備について伺う。

(町長)

A 当該地は、以前、水源地として利用されていた経過があり、原生的で貴重な天然林となっている。

平成16年5月に、町と森林管理署が協定を締結し「ふれあいの森」として整備された。今後も自然環境を壊さないような維持管理を継続し、学校教育や町民のいやしの場として活用してもらおう。町民の森林インストラクターの養成も必要だと感じている。

Q 学校教育ではどのように活用されているのか。

(野下教育長)

A 毎年、小学5年生を対象に、森林管理署の協力により、森林教室を実施している。森林の役割や、森の動物の生態について学習するほか、別の箇所での枝打ち体験などを実施しており、今後ふるさと教育の一環として活用していきたい。

町道土井沢線の 改修について

(町長)

Q 町道土井沢線について、地域の自治会から横断管渠の改修整備の要望が上がっているが、対応を

まめ辞典

併用林道とは？

国有林道は、国有林野の整備・保全のために作られた道路ですが、観光道路や生活道路としても機能している場合があります。そのような場合に市町村が国から林道を借り受け、市町村道として管理している道路を併用林道と呼びます。

伺う。

(町長)

A 町は森林管理署と併用林道協定を締結しており、通常の維持管理の範囲を超えるものについては、町の判断で改修することは出来ない。

これまで、森林管理署に再三要請していたが、今年8月の大雨災害後に再度要請したところ、今年度中に改修するとの回答を得た。

改修にかかる費用は、90%を森林管理署が、残りの10%は町が負担することになる。

一般質問


谷 郁司 議員

墓地の現況、管理、今後の方針を伺う

Q 墓参があまり行われていない墓地へ、先人を敬うため、供養碑の建立などを行う考えはないか。
(町長)

A 町では陸別墓地、小利別墓地、トナム墓地、薫別墓地、川上墓地、クンネベツ墓地を管理している。薫別、川上、クンネベツ墓地については、現況調査について検討したいが、供養碑等については考えていない。
(町長)

Q 陸別墓地の今後の利用可能区画数はどの程度あるのか。また、町外者の利用は可能か。
(町長)

A 現状の利用可能区画数は32区画程度で、町外者の利用も可能であるが、これまで申請はない。


Q 墓参道の草刈り、墓碑位置案内看板設置や立木伐採等の管理を伺う。
(町長)

A 墓参道の草刈りは、年1回行っており、回数増については状況をみて検討する。立木については、昨年も一部伐採したものであるが、墓碑などへの危険性なども踏まえ対応していく。案内看板については、必要性は低いと考えている。
(町長)

Q 陸別墓地内に「俱会一處」(くえいっしょ)と刻まれた塔があり、長い間管理されていないように見受けられるが。
(町長)

A 昭和9年に建立されたようだが、所有者、管理者が不明であり、確認してみたい。
(町長)

Q 墓地使用权の相続は把握しているのか。把握することにより、墓碑の管理、クリーニング代行等の仕組みにつなげていけるのでは。
(町長)

A 改葬時等必要な際に届け出をいただいているが、継承されているかなどについては把握していない。代行の仕組みづくりへの提言については受け止めておく。
(町長)

Q 共同墓碑を設置することにより、いつでもできる墓参を通じ、交流人口の増加につなげていけるのでは。
(町長)

A 現時点では問い合わせもなく、考えていない。
(町長)

可決した意見書

- 林業・木材産業の成長産業化に向けた施策の充実・強化を求める意見書
- 子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求めめる意見書
- 平成28年8月の連続4台風による災害への対応を求める意見書

条例・その他の審議結果

件名	審議結果
● 専決処分の承認を求めることについて〔一般会計補正予算(第3号)〕	承認
● 町道路線の廃止・認定について	可決
● 第5期陸別町総合計画の基本計画の変更について	可決
● 陸別町営住宅設置条例の一部を改正する条例 以下議員発議	可決
● 議員の派遣について〔ラコーム市姉妹友好提携30周年記念事業 ほか〕	可決

産業常任委員会報告

9月2日、陸別町商工会において勉強会を実施し、商工会の組織、小規模企業振興基本法、りくべつ鉄道事業、商業活性化施設「びらっと」について説明を受けました。

町内の商工業の課題としては、後継者不在で、事業が継続できなくなると思われ、第三者への事業継承も含めた、何らかの後継者対策が必要になってくると思われ。



陸別町商工会

総務常任委員会報告

10月4日、池北三町が運営する銀河クリーンセンターと、足寄町国保病院（人工透析治療施設）を視察しました。

今後、引きつづき調査・研究することになっています。



足寄町国保病院



銀河クリーンセンター

議会の動き

【8月】

25日 議員協議会
産業常任委員会

【9月】

2日 議会運営委員会
総務常任委員会
産業常任委員会
(商工会との勉強会)

6日 9月定例会
議員協議会

合同委員会
総務常任委員会

産業常任委員会
9月定例会

7日 9月定例会
議会運営委員会
議員協議会

9月定例会

総務常任委員会
議会運営委員会
(広報編集会議)

【10月】

4日 総務常任委員会視察
(足寄町)

14日 産業常任委員会
議員協議会
議会運営委員会
(広報編集会議)

委員の選任

固定資産評価審査委員会委員に依田美實さんを選任することに同意しました。
(再任)

次回の定例会は12月に開催されます。

詳しい日程等は議会事務局にお問い合わせ願います。皆さんの傍聴をお待ちしております。

町民の声を聴く
請願(陳情)は国や町などに対しての要望を文書で提出するもので住民の権利として保障されています。詳しくは議会事務局にお問い合わせください。

陸別町議会 ホームページ のご案内

一般質問の録音を聞いたり、会議録などの閲覧ができるようになります。

【陸別町議会ホームページ】
<http://www.rikubetsu.jp/gikai/>